

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 岡山県岡山市立足守中学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

住所 〒701-1462  
岡山県岡山市北区大井 360 番地

E-mail : ashimoric@city-okayama.ed.jp  
 Website : www.city-okayama.ed.jp/~ashimoric/

児童生徒数：男子 74 名 女子 77 名 合計 151 名  
 児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

## 4. 活動内容

### (1) 1年間の主な活動内容について

#### 1. 足守中学校地域学習（「足守地区活性化プロジェクト」）の概要

足守地域の様々な課題を整理し、それぞれの課題の克服方法を、現地調査を行ったり、地域住民と話し合ったり、日本・世界の同様な地域の様子を調べたりすることで、解決方法を探っていく取り組みである。このプロジェクトを通し、生徒1人ひとりが将来の足守地域の担い手であるという自覚を持ち、伝統を守り受け継ぎ、未来に向けての新しい地域創造を図り、地域を担っていく力を育てる。主体的に持続可能な社会づくりに参画する力を培うことを狙っている。

足守中学校区は、吉備高原の山並みに囲まれた農山村地域である。近年急速な高齢化、過疎化が進んでいる。農業以外の産業が少なく、生徒の多くは高校卒業後、地元を離れて進学・就職する者が多く、地域を担っていく若者が少ないのが現状である。

しかし、文化遺産が多く、古代・中近世の遺跡が発見されたり、近水園周辺では江戸時代の街並みが保存されている。また、地域には四季を通じて祭り等のイベントが多数あり、本校生徒も、ボランティアとしてよく参加し地域活性化に積極的に取り組んでいる。

恵まれた自然環境であるが、十数年前より河川の汚れが地域の課題になり、本校科学部による水質調査や河川の生物調査をはじめ、自然保護活動に参加してきた。その成果は全国水フォーラム等で発表を行い、「環境学習の足守中学校」として全国で有名になった。

本プロジェクトでは、今までの学習の成果を発展させ、生徒自らが主体的に学区の将来を考える「足守地区活性化プロジェクト」である。

#### 2. 本年度の実施状況

##### ①主体的に学ぶ力の育成と社会的スキルの習得（中学校1年～3年）

- ・全ての授業において「協同学習」を取り入れることで、生徒の主体性・協同性、他者を尊重する民主的な態度、仲間と共に問題解決に向かう技能、コミュニケーション能力を育成する。
- ・「ライフスキルトレーニング」(LST)による社会的な生き方（意思決定・問題解決・創造的思考・クリティカル思考・効果的コミュニケーション・対人関係・自己認識・共感性・メディアリテラシー等の力）を育成する。

（山陽学園大学准教授 富岡美佳先生）（各学年6時間）

##### ②教科での学習

- ・関連する単元を「関係図」として作成し、それをもとに教師が意識的に指導する。

##### ③体験学習

- ・福祉体験学習（1年）：近隣の老人ホームでの体験学習。地域の高齢化の実態を知る。
- ・職場体験学習（2年）：地域の職場とその現状を知る。

##### ④3学年の「総合的な学習の時間」でまとめ、地域へ提言する。（約15時間）

1学期・・・テーマの設定、調査計画の作成

夏季休業中・・・調査、資料収集と整理

2学期・・・

- ・調査と資料の整理の補充
- ・提言内容をまとめ、提言書を作成、
- ・地域学習発表会にて、地域行政等に対して提言
- ・有識者等からの講評とそれをふまえた振り返り、および次年度以降への引き継ぎ
- ・生活における実践

### 3. 3年生の地域学習発表会 平成26年10月17日(金)14:00~16:00

#### ①提言内容(2クラス49名が12グループに分かれて提言)

【自然・環境】「足守川生き物たち～足守川の絶滅危惧種の魚～」  
「絶滅危惧種を守るには」

【生活・産業・福祉】「広めよう 福光牧場の素晴らしさ！」  
「Seasonal 米粉スイーツ」  
「米粉の王様」「ぼっけえおいしい 足守メロンスイーツ」  
「ごぼう・しいたけの美味しさを広めよう！」  
「☆ホテルとびかう星の里」「足守メロンの栽培方法！！」

【歴史・文化】「世界に広めよう足守の観光地」  
「そうだ 利玄に会いに行こう」

(2) 来賓の方(足守公民館長、足守地域センター所長、連合町内会長、岡山西商工会、岡山市福祉交流プラザ大井館長、近水観光振興会、足守小学校長、蛍明小学校長、足守幼稚園長、地域協働学校運営協議会長、地域コーディネーター、岡山市ESD世界会議推進局)

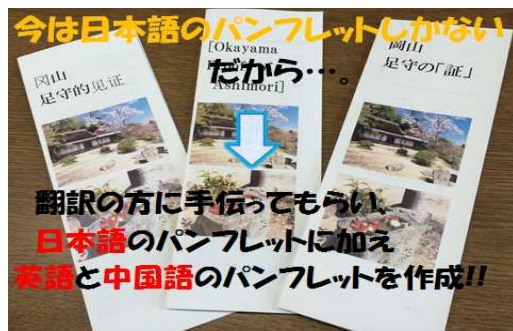
(3) 使用した器具等

パソコン、パワーポイントソフト、模造紙、画用紙、印刷機器、DVD、プロジェクタ

(4) 代表的な提言の紹介

テーマ:「世界に広めよう足守の観光地」

提言:足守の有名な観光スポット(粟井温泉 安富牧場 近水園)の英語版・中国語のパンフレットを作成し、多くの外国の人々に足守を知ってもらえるよう、市内の観光案内所に置いてもらいたい。



### 4. 成果と課題

#### 成果

##### ① 学校としての成長

今年度はESD世界大会が岡山で開催されたことも有り、地域学習発表会で、蛍明小学校・足守小学校6年生児童のプレゼンテーションも行った。小中一貫教育にむけて意識づけができた。

##### ② 子どもたちの成長

「総合的な学習の時間」の集大成として位置付けている「地域学習」は、生徒がこれまでの学習をもとに、より説得力のある工夫したプレゼンテーションを行うことができた。また、今年度はブースでの展示発表も取り入れ、より内容の濃いものとなった。

#### 課題

今年度は、有識者等からの講評とそれをふまえた振り返りをもとに、課題の焦点を絞って、継続的に調査・活動ができたグループもあったが、その後地域に対しての働きかけが継続して行うことができていないとの指摘もあった。下学年がそれを引き継ぎ、発展させていく必要がある。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（科学部の活動の一部として）